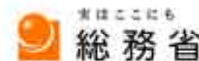


麻生議員提出資料

平成17年5月31日

平成18年度の科学技術に関する予算・人材等の資源配分の方針(案)について



情報通信分野

< 基本的考え方 >

情報通信技術(ICT)を活用した社会の安全・安心の確保は、情報通信システムの安全性の確保と同様に重要
電子タグ、センサーネットワーク、ネットワークロボット技術等の活用により、幅広い分野においてICTによる安全・
安心な社会を実現することがユビキタスネット社会の大きな意義

従って、
重点4分野のうち「情報通信」の部分 及び
新たな政策二ーズへの対応のうち「安全・安心な社会を構築するための科学技術」
に、情報通信技術を活用した安全・安心な社会環境の実現について記載すべき。

消防防災分野

< 基本的考え方 >

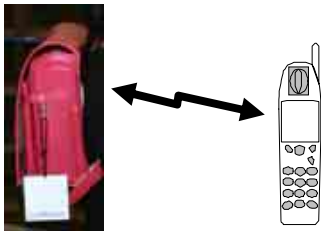
自然災害・企業災害・事故が頻発、大規模化する中で、我が国の優位性である安全・安心を維持向上していく
ことは、我が国の活性化に不可欠。
また、国民の多くが「安全の確保のために高い技術水準が必要」としており、消防科学技術をはじめとする
「安全・安心科学」の推進は国民の強い願い。

従って、
消防防災対策をはじめとする「安全・安心科学」に対して、研究開発資源の重点的な配分を行うべき
その中でも、特に、様々な災害から国民を保護するための研究開発についての取組を一層推進し、
ナノファイバーを活用したハイパー消防服など国民の安全・安心を第一線で守るための消防防災科学
技術の高度化に関する研究や、燃料電池やバイオマス等循環型社会の構築に伴う危険を防除するた
めの研究を強力に推進すべき。

情報通信技術(ICT)を活用した安全・安心な社会の実現

通学児童の安全確保

ランドセルに電子タグを付け、児童の登下校の情報を保護者の携帯電話に送信



災害時の救急活動

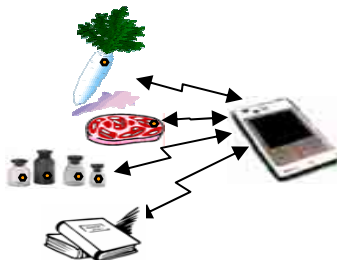
大規模災害時において、負傷者の情報を電子タグに記録し、的確な救急搬送や適切な処置治療を実施



医療・福祉、環境等における
諸課題をICTで克服し、
安全・安心な社会を実現

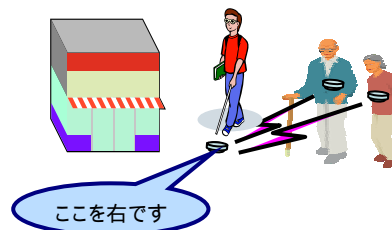
食や医療の安全

食品の産地情報や賞味期限等を、
店先で簡単に分かりやすく確認
薬品の効能や副作用などについて、
自動的に説明



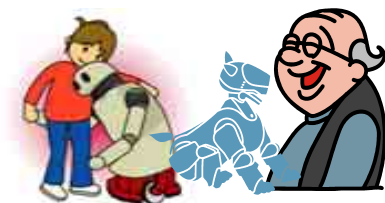
高齢者・障害者の生活支援

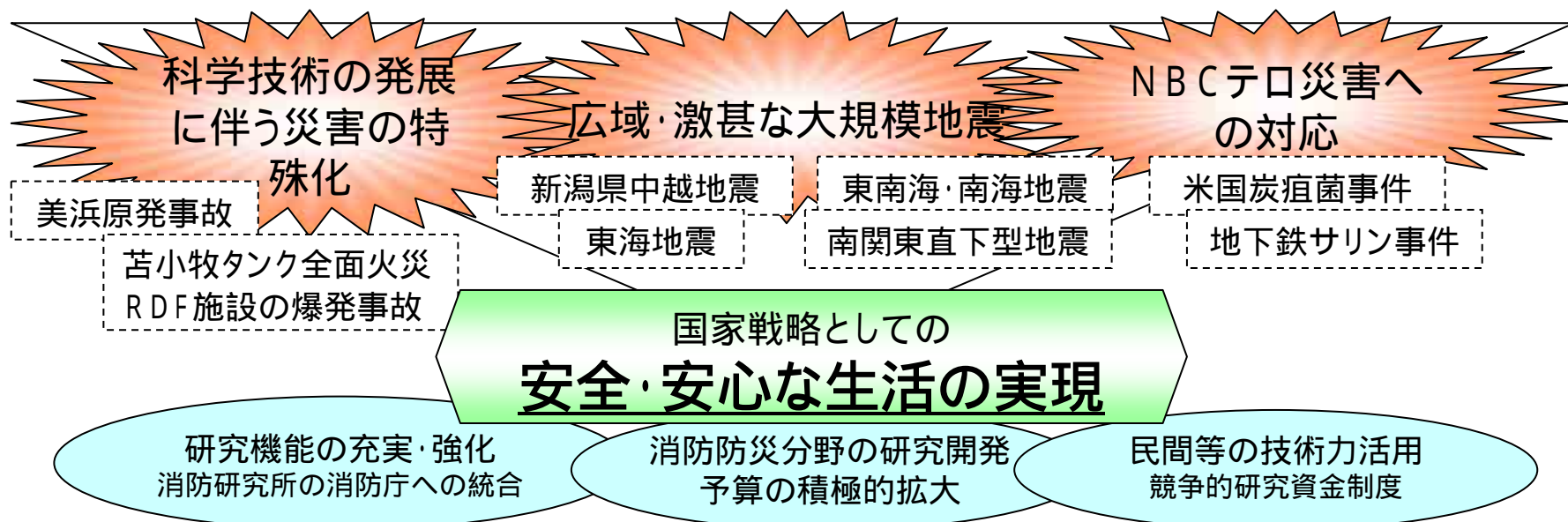
高血圧のお年寄りの心拍、血圧、
体温等の情報を常時確認
視覚に障害のある方を目的地ま
で杖で誘導



人に優しいコミュニケーション

複雑な操作やストレスを感じる
ことなく、高齢者や障害のある方
を含む誰もが安心してICTを使う
ことができる社会





【具体例】

消防の分野では超高温等の極限条件での技術開発が必要



やや長周期の地震動に強い石油タンクの研究開発



ナノテク等の新技術を活用したハイパー消防服等



NBC災害等過酷な環境に耐える消防・防災ロボットの研究開発

他分野への応用の無限の可能性

医療分野

手術ロボット、人工筋肉…

衛生分野

超小型浄水器…

情報通信分野

有機EL超小型画面…

エネルギー分野

手術ロボット、人工筋肉…

防衛分野

BCテロ防護服…

警察分野

爆発物処理、地雷処理…

労働分野

超耐熱作業服…

福祉分野

介護ロボット、パワードスーツ…

スポーツ分野

超保温ウェア…